

ロジックモデル

| 現状と課題 | | 番号 | A 個別施策 |
|-------------|---|----|--|
| 災害拠点病院 | <p>災害時における医療を確保することを目的に、災害拠点病院として17か所指定。被災後、診療機能を維持できるよう、業務継続計画(BCP)の整備を行うことや、地域災害医療対策会議のコーディネート機能の確認を行う訓練を実施している。</p> <p>①すべての災害拠点病院が被災後の診療体制継続のための業務継続計画(BCP)を策定済 ⇒引き続き、業務継続計画(BCP)の見直しや訓練の実施が必要</p> <p>②各保健所管轄区域等、地域単位での災害時の連携体制の強化が必要 ⇒引き続き、地域災害医療対策会議の開催及び事業の実施により、コーディネート機能の確認を行うことが重要</p> <p>③浸水想定区域内の災害拠点病院については、新たに水害発生時の浸水対策が指定要件に加わる ⇒止水板の設置、医療用設備や電気設備の移設、排水ポンプ・碓氷貯留槽の設置など、浸水対策事業への支援が必要</p> | 1 | <p>(1)業務継続計画の整備・見直し</p> <p>(2)地域の災害医療体制の充実</p> <p>(3)耐震化、浸水対策の推進</p> |
| 災害拠点病院以外の病院 | <p>災害拠点病院以外の病院も、医療提供体制の継続のため、業務継続計画(BCP)の策定、訓練の実施や、病院耐震化等、災害対策を実施している。</p> <p>①本県の病院(災害拠点病院以外)の耐震化率は83.6%(2022年9月時点) ⇒耐震化改修工事のほか、ブロック塀の強化、各種浸水対策事業等、ハード対策への支援を行うことが必要</p> <p>②各医療機関との情報伝達及び共有のための体制を整備することが必要 ⇒引き続き、広域災害救急医療情報システム(EMIS)等を活用した訓練の実施が必要</p> <p>③本県の病院(災害拠点病院以外)の業務継続計画(BCP)は31.8%(2024年3月時点) ⇒引き続き、業務継続計画(BCP)研修の実施等、計画策定のための機会の創出が必要</p> | 2 | <p>(1)耐震化、浸水対策の推進</p> <p>(2)災害時における情報連絡体制の強化</p> <p>(3)業務継続計画の整備</p> |
| 群馬県 | <p>県としての災害医療体制の充実の他、各種医療チームの被災地派遣確保、保健分野、福祉分野との災害時の連携強化を図る。</p> <p>①災害医療コーディネーター制度に基づく災害医療の体制整備 ⇒引き続き、災害医療コーディネーターの知識・技能を向上させるための研修等の開催により、連携体制を確保することが重要</p> <p>②各保健所管轄区域等、地域単位での災害時の連携体制の強化が必要 ⇒引き続き、地域災害医療対策会議の開催及び事業の実施に対する支援が必要</p> <p>③災害派遣医療チームの充実、強化 ⇒研修等を通じ、DMAT、DPAT等災害時に活動する医療チーム数を増加させることが必要</p> <p>④災害拠点精神科病院が未設置のため、指定を検討することが必要</p> <p>④保健医療福祉調整本部として活動するための保健・医療・福祉分野の連携 ⇒現行の計画・方針に基づき、行政・DMAT・DPAT・DHEAT等、災害時の健康管理に携わるチームの連携を確保することが必要</p> | 3 | <p>(1)災害医療コーディネーター体制の充実</p> <p>(2)地域の保健医療体制の充実</p> <p>(3)DMAT体制の強化</p> <p>(4)災害時における精神保健医療体制の整備</p> <p>(5)災害医療と保健、福祉分野との連携</p> |

番号 B 目標

| | |
|-----------------------------------|--|
| 災害拠点病院が、災害時においても診療機能を維持できる体制を整備する | |
| 1 目標値 | 業務継続計画(BCP)に基づいた災害対応訓練を実施している災害拠点病院の割合 |
| | 災害医療の医療チーム等の受入を想定し、関係機関・団体等と調整の上、地域災害医療対策会議のコーディネート機能の確認を行う訓練や研修などの実施回数1(2)、(3(2)指標) |
| | 浸水想定区域に所在する災害拠点病院で、浸水被害への対策を行っている病院の割合 |

| | |
|---|---|
| 災害拠点病院以外の病院等が、被災をしても早期に診療機能を回復できるよう、平時からの備えを講じている | |
| 2 目標値 | 災害拠点病院以外の病院の耐震化率 |
| | EMISの操作を含む研修・訓練を実施している医療機関の割合 |
| | 災害拠点病院以外の病院における業務継続計画(BCP)を策定している病院の策定率 |

| | |
|---|---|
| 災害時に医療分野で活動するチームの強化と、保健分野、福祉分野で活動するチームとの連携を強化する | |
| 3 目標値 | 災害時の医療チーム等の受入を想定し、都道府県災害対策本部で関係機関(消防、警察、保健所、市町村等)公共輸送機関等との連携の確認を行う災害訓練の実施回数 |
| | 災害派遣医療チーム(DMAT)チーム数 |
| | 災害派遣精神医療チーム(DPAT)登録医療機関数 |
| | 災害拠点精神科病院の指定数 |
| | 災害時保健医療福祉調整本部における医療・保健・福祉分野の連携強化を目的とした研修・訓練の実施回数 |

番号 C 最終目標

| | |
|--|-----------------|
| 「避けられた災害死」を最小限にとどめるため、災害時の医療提供体制を確実に確保する | |
| 1 目標値 | 医療機関の災害対応訓練の参加率 |